

視覚障害者の

131
1994-5

【特集】

図書館と視覚障害者

- 01 点字図書館のサービスに望むこと
大橋由昌
- 08 公共図書館における視覚障害者サービス
前田章夫
- 15 公共図書館で働く視覚障害職員の現状
服部敦司

●ルポ●

- 24 府県レベルに達した福祉のまちづくり条例
加藤俊和

●talk to talk●

- 29 盲老人ホームの地域における役割と問われる専門性
本間昭雄／新阜義弘

- 39 統一日本語点字記号の開発
藤芳衛

- 47 インフォメーション・コーナー

- 53 「視覚障害」総目次No.121～No.130

ISSN 0385-7476

SSK

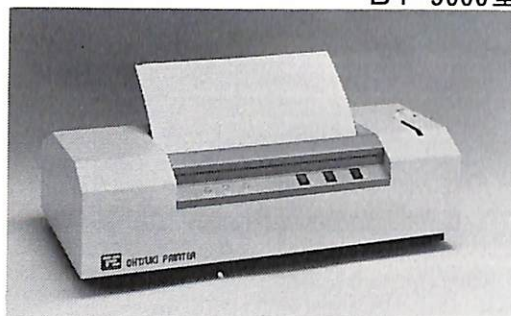


点訳のパートナー

オーツキプリンターは情報化時代に適応した点字プリンターとして幅広くご活用いただけます。

★点字と活字が同時にプリントされます。

BT-5000型



価格88万円

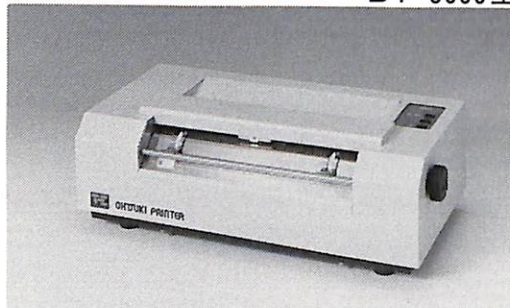
●特長

1. 点字と活字を同時に印字又は点字のみを打出す事ができます。
2. 用紙は単票又は連続用紙が可能、インクローラの取り付けも簡単です。
3. 自動紙幅検出、自動改行ができます。
4. 日、米、英、独、仏の5ヶ国語がプログラムされています。
5. 点字グラフィックを打出す事ができます。
6. 本機はシリアル及びパラレルインタフェースを兼備しております。

NEW

★ユーザーニーズに応え低価格を実現!!

BT-3000型



価格48万円

●特長

1. 両面印刷機能をサポートしています。
2. ペーパー先端検知機能により用紙のセットが簡単です。
3. 連続用紙の使用で1セット1,000枚のプリントが可能です。
4. 点字サイズは日本標準サイズです。
5. 小型軽量のため場所を取らず扱いも簡単です。

プリンター対応ソフト

AOK点字ワープロ、ブレイルスターII、エクストラ、ガッテンダ、BASE/TDC他

※当社では、ユーザーの皆様が安心してお使いいただけるよう、確実と信頼を実証しております。

TE
TECHNO EIGHT

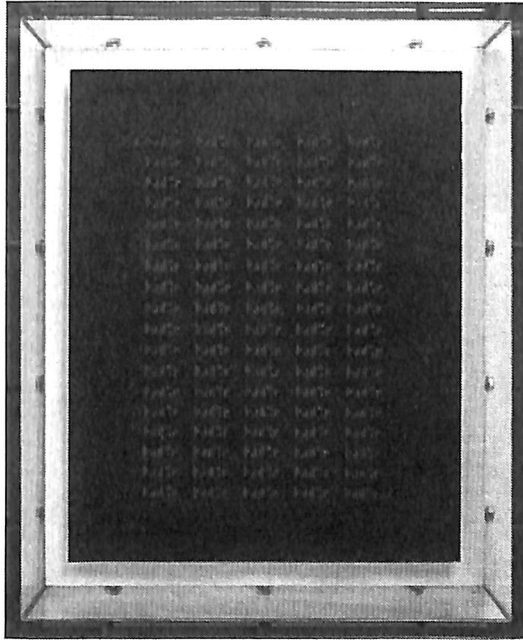
テクノエイト株式会社 総合企画研究所

〒192 東京都八王子市片倉町358番地

TEL 0426 (37)0592 FAX 0426 (37)0593

点字による絵画作品展

1月8日～29日まで大阪心斎橋のギャラリーKURANUKIで石原友明さんの「美術館で、盲人と、透明人間が、出会ったと、せよ」と題する展覧会が開かれました。



盲人にとっての美術を考えると、まず思い浮かべるのが、手でさわる彫刻や立体作品です。しかし、手で触れる彫刻は美術のなかでは非常に限られた分野で、美術を観賞するための切り口は他にもいろいろあるように思えます。また晴眼者が絵画を見るにしても作品を目の前にしたとき、その奥にある作家の思想、制作動機等を考えることなく描かれているものだけを見て理解したと錯覚することがあります。その場合、目で作品を捉えてはいても、こちらの目では見ていないということになります。今回の展覧会で発表する作品は、鉛筆で真っ黒にドローイングした紙や黄色一色の写真の表面に点字が刻印されています。のっぺらぼうの平面に点字のみが浮き出ているという作品です。見た限りでは点字の他に何の見える手がかりもありません。晴眼者は、逆に目の不自由な方々が使用している点字のシステムを学ばないとこの絵画を読み取れないということになります。また、盲人にとっては、立体作品に触れるようなおもしろさはありませんが、作品上の点字を読み取ることにより、別なかたちの美術との出会いがあります。

(写真・文：ギャラリーKURANUKI提供)

アジアへパス！

第1回マレーシア・日本盲人バレーボール大会



マレーのブロック練習



お茶の時間

アジアの障害者文化交流協会（事務局：社会福祉法人光友会内、代表：同会専務理事・五十嵐紀子）はMABの協力で3月28日、マレーシアのクアラ・ルンプルで初の盲人バレーボール大会を開催しました。日本からは昨年の全日本盲人バレーボール大会優勝・準優勝チームと神奈川県視覚障害球技審判協会など25名が参加。マレーシアの視覚障害者にとってバレーボールは初めて。ペナンのセントニコラウス盲学校、サラワク州の盲人福祉協会、MAB、マレーシア盲人協会などから2チームをつくり対戦です。このイベントは現地の中国人系新聞や英字スポーツ紙で“アンダー・バレー”として大きく紹介されました。

（写真提供：アジアの障害者文化交流協会）

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編 集 後 記

先日、朝日新聞朝刊社会面で“点字版中国語辞典完成”の記事を見付けました。全21巻で31万5,000円という価格には驚きますが、視覚障害者個人で購入の場合は割引があるとのこと。ともあれ、大学などで中国語を履修する視覚障害学生にとっては福音です。ところで、この辞典をつくったのは既存の点字出版所でもなければボランティアグループでもありません。点訳サービス事業を展開する“オフィス・リエゾン”。これまで、録音サービス専門の有限会社は存在していますが、点訳はあまり耳にしたことがありません。「点字文書——必要な人に必要なだけ」をモットーに事業を展開しています。視覚障害者を取り巻く情報提供の幅がまた一つ広がりました。一方、図書館界も大手の商用通信網などを介して図書情報や点訳データを開放するようになってきました。情報を“取捨選択する”“買う”時代の足音が少しずつ近づいてくるようです。

(立花明彦)

視 覚 障 害	1994年 5 月 No.131
年間講読料	3,300円(送料とも)
発行日	1994年 5 月 1 日
編集人	立花 明彦
(連絡先) 日 本 盲 人 福 祉 研 究 会	
〒166 東京都杉並区成田東5丁目36番15号	
電話 (03) 3220-1421	
振替口座 東京 6-16103	
発行人	身体障害者団体定期刊行物協会
〒157 東京都世田谷区砧6-26-21	
印刷所	合同印刷株式会社
〒130 東京都墨田区業平2-9-13	
電話 03(3624)6111 (代表)	